様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2025　年　6 月　25 日

富山県知事

新　田　八　朗　　殿

提出者

住　所　富山県下新川郡入善町下上野40－1

氏　名　株式会社　サンリッツ

代表取締役社長　伊藤　彰浩

電話番号　0765-74-7220

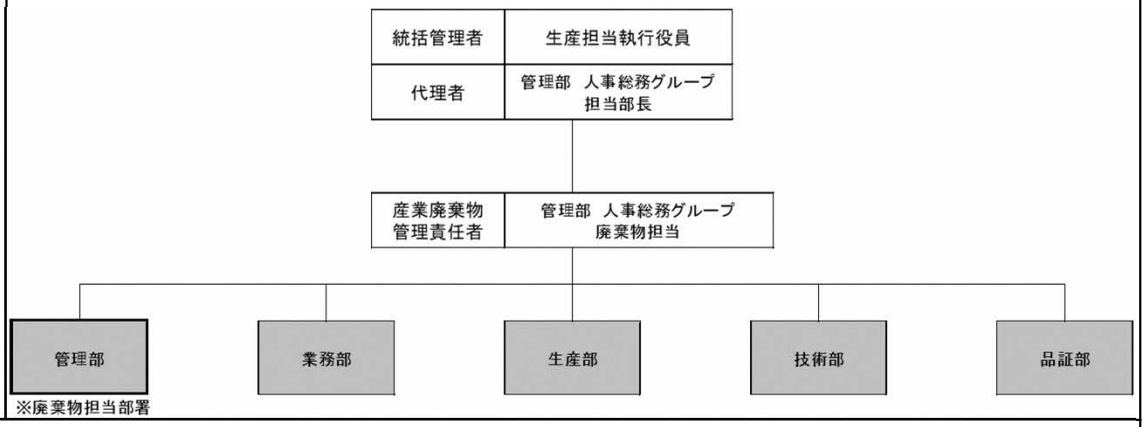
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社サンリッツ
事業場の所在地	富山県下新川郡入善町下上野40-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革加工
②　事業の規模	13,444百万円
③　従業員数	201名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１の通り

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙２のとおり	
	排　　出　　量_	1450.3　　t	t
	（これまでに実施した取組） ・不要物の有価物化 ・生産プロセス改善による材料ロス削減 ・生産工程処理液使用の長期期間化 ・生産性並び品質向上に伴う材料ロス及び製品ロス削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙２のとおり	
	排　　出　　量_	1816.3　　t	t
	（今後実施する予定の取組） ・生産性並び品質向上に伴う材料ロス及び製品ロス削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラ類→有価物と廃棄物の分別、サーマルリサイクル割合の増加 ・廃金属→鉄と非鉄の分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃棄物の最終処分方法の埋立削減 （新規リサイクル処理先の開拓による増加）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和6 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>別紙３のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>1450.3　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1280.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1289.2　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>16.0　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

・再資源化業者への処理委託増加

・熱回収業者への処理委託</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td>別紙４のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量_</td><td>1817.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1617.4 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1563.6 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>34.0 t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）

・廃プラの再生利用業者への処理委託先増加</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

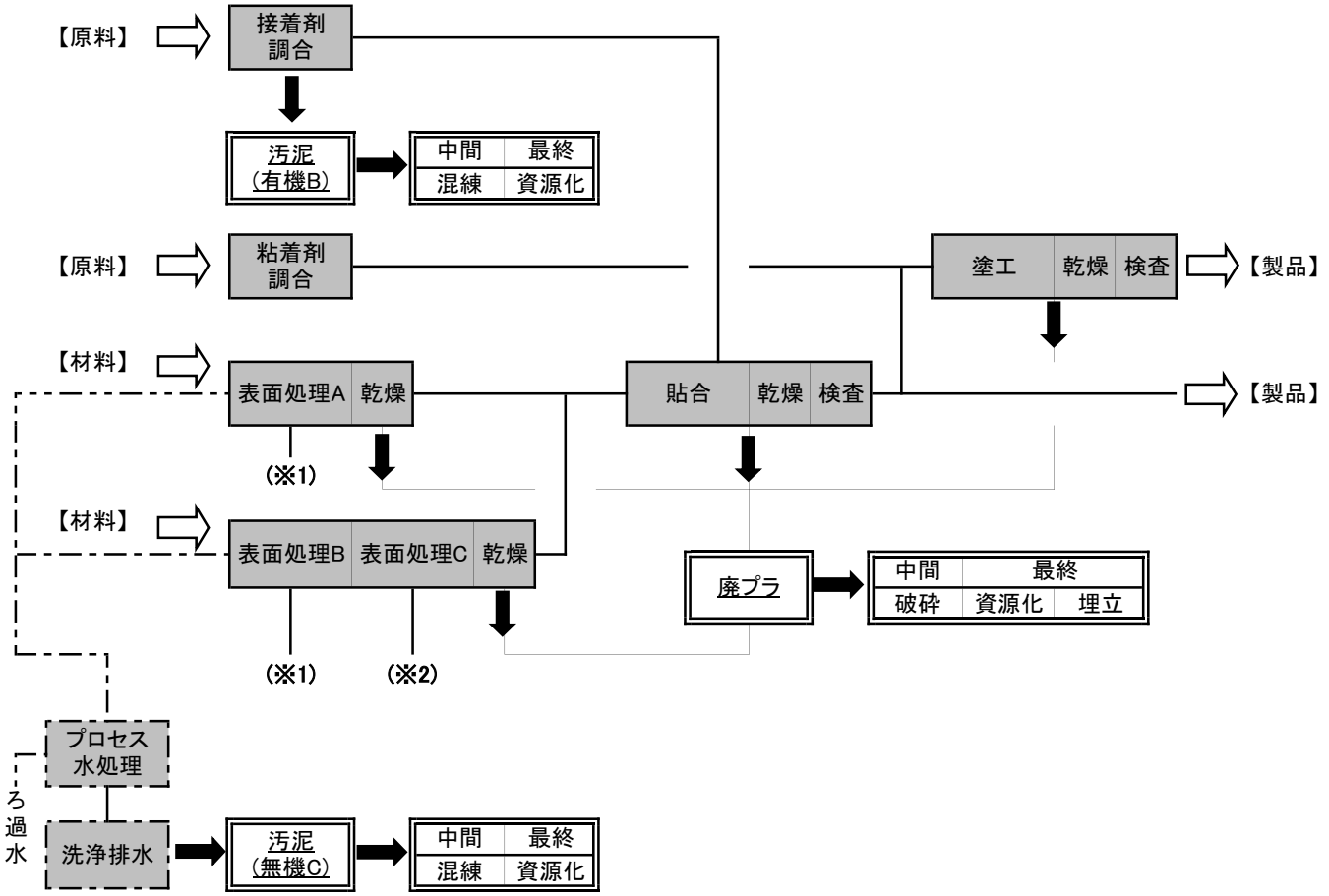
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

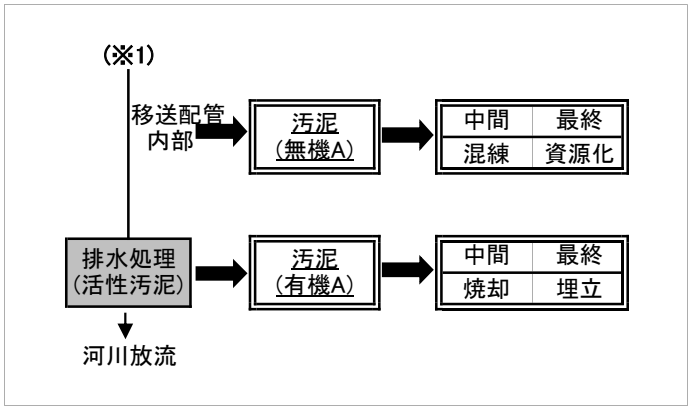
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

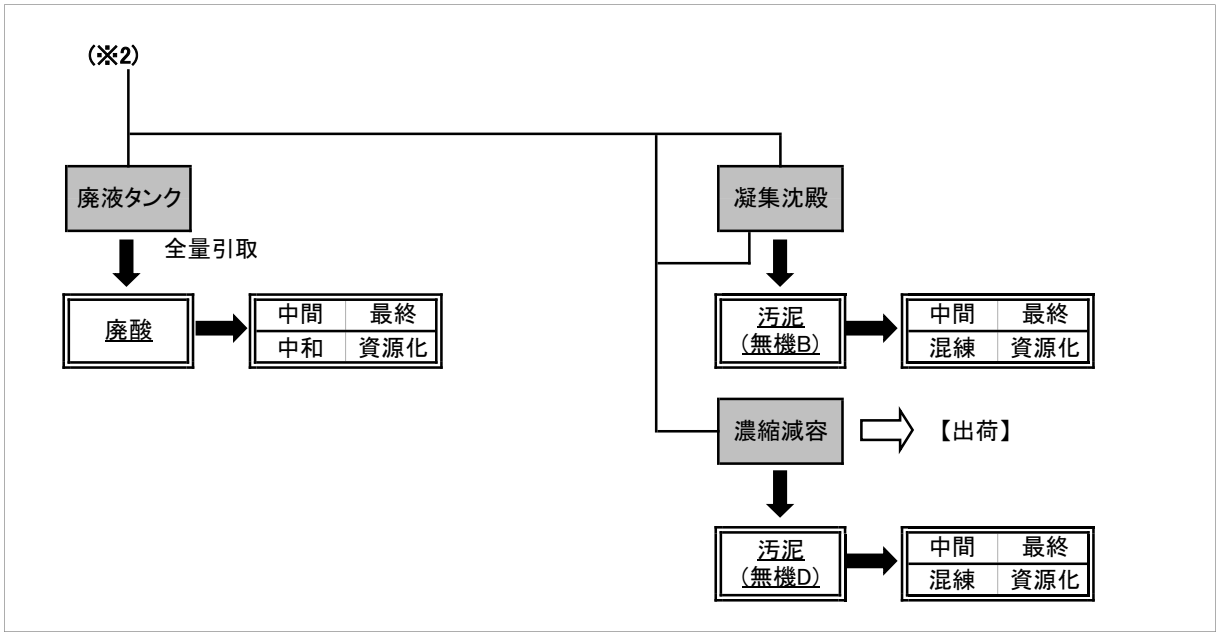
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

（別紙1）産業廃棄物の一連の処理の工程



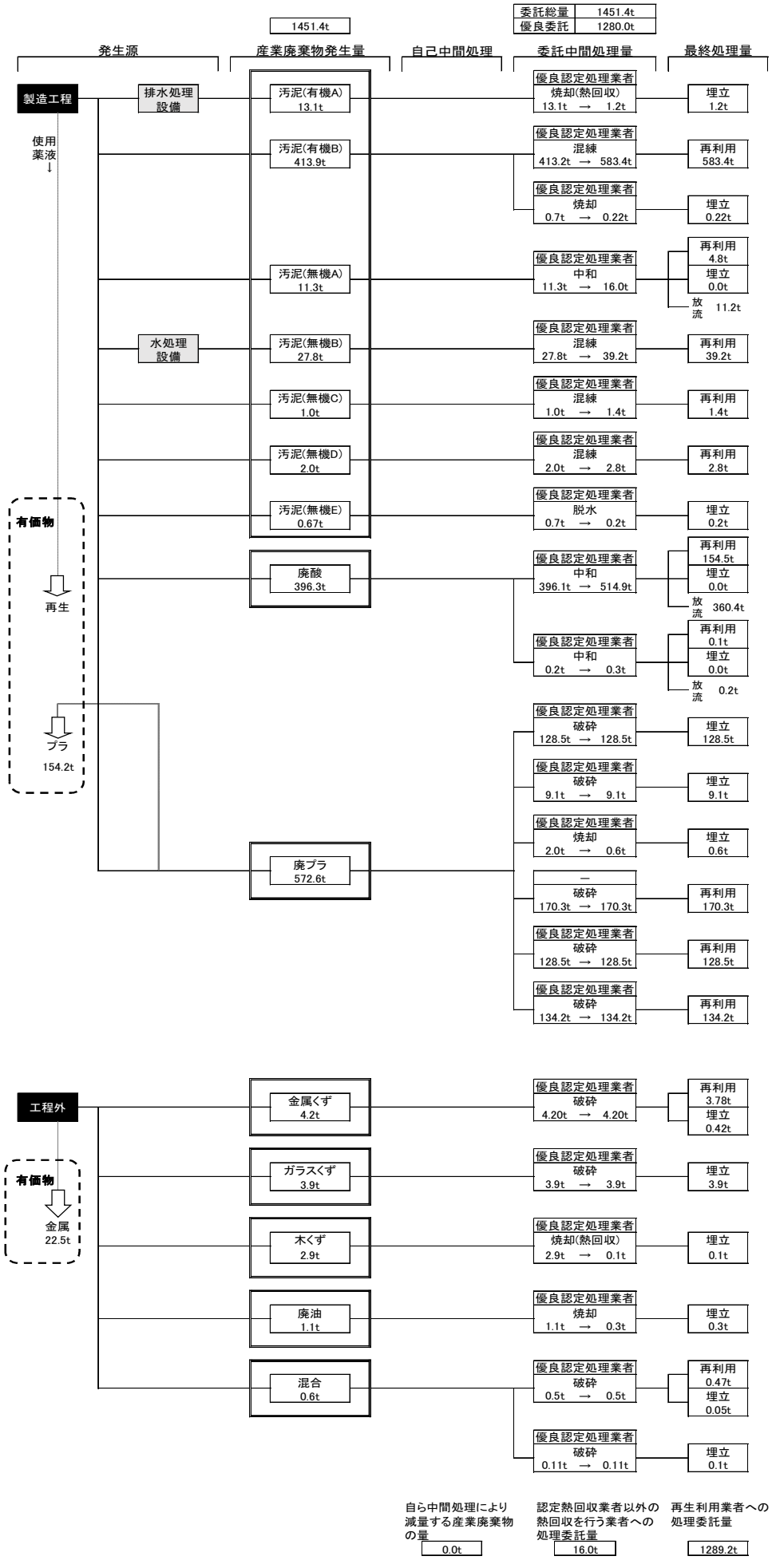




（別紙2）産業廃棄物排出量　目標・実績

産業廃棄物	令和6年度 2024年度 実績	令和7年度 2025年度 目　標
汚　泥	469.8 t	550.0 t
廃　酸	396.3 t	600.0 t
廃アルカリ	0.0 t	0.3 t
廃プラスチック	572.6 t	650.0 t
金属くず	4.2 t	5.0 t
ガラスくず	3.9 t	4.0 t
木くず	2.9 t	6.0 t
廃　油	1.1 t	1.5 t
混　合 （廃ﾌﾟﾗ・ｶﾞﾗｽ・廃電機器）	0.6 t	1.0 t
産業廃棄物 排出量合計	1,451.4 t	1,817.8 t

（別紙3） 産業廃棄物種類別　排出量および処理委託フロー 【令和6年度実績】



（別紙4）産業廃棄物種類別　排出量および処理委託フロー【令和7年度目標】

